

	浦和大里小学校だより 1月号 令和6年1月9日発行	教育目標 夢と希望をもち、 人間性豊かで 心身ともに たくましい子の育成
---	---	--

小さな達成感を積み重ねていきましょう

校長 中野 緑

謹んで、新年の挨拶を申し上げます。旧年中は、浦和大里小学校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。本年も、子どもたち一人ひとりの幸せにつながる学校生活となりますよう、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、職員一同、努力してまいります。今年は文字通り大激震でスタートとなりました。新潟に帰省していた私も、ミシミシと音を立てて大きく揺れる古い家に恐怖を感じました。能登半島地震で被災された方、親類、友達などがいらして心配ただ中の方々のご心痛はいかばかりかと思えます。心からお見舞い申し上げます。

さて、私は箱根駅伝観戦が大好きです。大きな事故が続いて落ち着かない中でしたが、今年も、熱いテレビ観戦となりました。昨年度活躍した選手の今年の成長をみるのも楽しみですし、特に、走り切ってタスキを渡す選手の「達成感」あふれた笑顔と、タスキを受け取り走り出す選手のやる気に満ちた笑顔を見るのが大好きです。毎年のことながら、「今年も一年、元気に頑張ろう！」と気力が沸いてくるとともに、彼らのエネルギーは伝染し、いそいそと彩湖にジョギングに出かけるのも恒例となりました。

今年の干支は辰（たつ）です。インターネットで調べてみますと、辰年は「陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」なのだそうです。

3学期も辰年に似ています。去年まいた種、つまり、これまで学んできたことや築いてきた人間関係等に関する努力が芽生え、目に見える形になる時期です。私たち教職員は、子どもたち一人ひとりの「がんばり」を自覚させ、この1年間でどう成長したのか具体的に共有し、「達成感」を味わわせたいと考えています。「達成感」は希望や目標を高くもって新たな年度に向かうエネルギーとなるからです。

子どもたちには、3学期の始業式で次のように話しました。
「自分の中で『好きと思える自分』を大切にしましょう。」

私自身、油断するとすぐに弱い自分が顔を出します。「まあ、いいか」と後回しにしたり、自分を棚に上げて他人を批判したり、人のせいにしたり……。でも、後になってそんな自分が恥ずかしくてたまらなくなるのです。

さあ、しめくくりとなる3学期です。これまでを振り返り、「がんばれた自分」「かっこいいと思えた自分」をイメージしながら、共に努力しようではありませんか。子どもたちが、今年も、温かな人間関係のもと、「達成感」を積み重ねることができるよう、心から願っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ブックランド前より
辰・龍にちなんだ本が紹介されています